

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月16日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備設置工事における負傷者の発生について】 増設雑固体廃棄物焼却設備設置工事において、協力企業作業員が廃棄物貯留ピット内への水中ポンプ投入用ガイドパイプの取付け作業中、吊下げたパイプと足場との間に右手を挟み負傷。 救急車にて病院へ搬送。 病院にて医師の診察を受けた結果、右手中指と薬指の挫創および右手小指剥離骨折と診断。</p>	G II	1月13日
2	<p>【建屋内淡水化装置(B)の警報発生について】 建屋内淡水化装置(B)の運転中に淡水化ユニットの「入口酸化還元電位※高」警報が発生。 原因を調査し、対策を検討する。</p> <p>※処理水中の微生物の殺菌、スケールの発生抑制のため薬品を注入している。また、その薬品による淡水化ユニットの劣化(酸化)を防止する目的で還元剤を注入しており、淡水化ユニット入口で処理前の水の酸化還元電位(残留塩素)を監視している。</p>	G III	1月14日